

【規格名（和名）】

臨床検査マスター

【規格名（英名）】

Laboratory Test Code Master

【規格の目的（ユースケースを含む）】

現在多くの病院では臨床検査コードが各病院独自のコードとなっていて、システム更新の都度、システムが異なると（ベンダーまたは製品）マスターの設定をしなければならずユーザ及びベンダーに多大な負荷が生じていた。また地域連携に際しても異なる医療機関での検査結果の共有が難しい状況にありました。さらには病院情報システムにおける基幹システムと部門システムである臨床検査システムは多くの場合異なる専門のベンダーからなるケースが多くその接続の面からも個別コードはシステム構築工数の増加だけではなくコード不整合の危険性を残し安全性の面でも問題がありました。そこで（財団法人）医療情報システム開発センターでは関連諸団体との協力により検査結果をより正確に表記可能としたJLAC10コードを用いた臨床検査マスターの開発を行いました。

【規格適用領域】

本マスターは下記の領域に適用可能です。

- ・ 病院内基幹システム／臨床検査システム間インタフェース
- ・ 医療機関連携システム共通インタフェース
- ・ システムリプレイス時の検査マスター作成支援
- ・ 医療機関対検査センター間インタフェース

【関連他標準との関係】

本マスターは下記の規格の関連部分を取り込んでいます。

- ・ 日本臨床検査医学会発行 臨床検査項目分類コード（JLAC10）
- ・ 厚生労働省保健局診療報酬提供サービ

ス診療行為マスター

【マスターの構成】

本マスターは下記のコード表及びツールから構成されています。

(1) JLAC10 要素コード表

本要素コード表は日本臨床検査医学会発行 臨床検査項目分類コード（JLAC10）の5種類のコード表を取り込んでおります。

分析物コード、識別コード、材料コード、測定法コード、結果識別コード

(2) 診療行為マスター

厚生労働省保健局診療報酬提供サービス提供の診療行為マスターを取り込んでいます。

(3) 検査項目コード表

前述の要素コードの存在する組み合わせの内、利用頻度の高い項目を収容しています。オリジナルは日本臨床検査医学会発行 臨床検査項目分類コードの運用コード表（2006/09/19 更新）を用いますが、その後は日本臨床検査医学会他の協力を得てMEDIS-DCで独自に更新を行っております。

本検査項目コード表には推奨する結果値単位を掲載しております。

また本検査項目コード表には各検査項目に対応する診療行為コードを記載しております。

(4) 利用ツール

本マスターの利用をサポートするツールであり検査項目コード表に関数として組み込んであります。

【診療行為マスターとの連結】

各検査項目と診療行為マスターとの連結は診療行為コードを介して行っていて本マスターの特徴となっております。検査項目と診療行為コードの関係は、大方は1対1となっておりますがN対1になってい

るものが少なからず存在しています。N対1の中には尿一般検査のように診療報酬上のセット検査が含まれています。セット検査時の検査結果は結果識別コードで検査内容を区別するようになっていません。

【利用ツール】

検査項目コード表ではJLAC10コード17桁を各要素コードの名称を付けてどのような検査かを分かるように展開します。このとき本ツールは各要素コード表を自動索引するようにしていますので、利用者が要素名称を入力する必要がありません。このツールを使用することにより以下のような効果を得ることができます。

- ・ 要素名称の入力間違い防止
- ・ 標準要素コードと、ユーザ個別登録要素コードの区別
- ・ 未定義要素コードのチェック
- ・ 未新検査項目コードの作成支援（要素コードは定義済み）
- ・ ユーザ定義コードの管理
- ・ 外部より入手JLAC10コードの検査内容展開 他

【メンテナンス状況】

更新は不定期で下記の場合に更新を行います。

- ・ 診療報酬改定時

- ・ 新規の検査が追加されたとき

なお、2009年度の更新状況を下記に示します。

- ・ V2.02 4/30
平成21年度診療報酬改定の反映
- ・ V2.03 6/30
新規検査追加（分析物2件、結果識別（固有）2件）
日本臨床検査医学会からの連絡による。
- ・ V2.04 10/13
日本臨床検査医学会最新版JLAC10コード表（ver.10.a13、2009/08/26更新）の反映
- ・ V2.05 11/18
V2.04の不備修正

2010年度の更新状況を下記に示します。

- ・ V2.06 5/28
平成22年度診療報酬改定の反映
- ・ V2.07 (2010.12.06)

【規格の入手方法】

（財）医療情報システム開発センターのホームページからのダウンロードにより入手可能です。

<http://www2.medis.or.jp/master/kensa/index.html>